

平成29年度行政評価シート【個表】

平成 29 年 6 月 22 日

評価対象事業		評価者	総合防災課長 長崎 聡之	
防安-02	実施事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	主管課	総合防災課
	防災運営事業		関連課	
総合計画上の位置付け	分野	防災・安全	施策の方針	地震対策・風水害対策の充実

1 事業の目的

対象	市民等
意図	地震・風水害などの災害から市民の生命・財産を守るため。
効果	都市防災の推進に努めると共に、総合的な防災対策の強化を図り、災害に強いまちにする。

2 平成28年度に実施した事業の概要

<ul style="list-style-type: none"> <li>鎌倉市防災会議の運営などを行った。</li> <li>総合防災訓練及び各種防災啓発事業を実施した。</li> </ul>
---

3 事業費等基礎データ

データ区分	27年度決算		28年度決算		データ区分	29年度当初予算		備考
	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数		人 口	世 帯 数	
人口等のデータ	177,243人	80,676世帯	176,869人	80,928世帯	176,466人	81,150世帯		・各年3月31日 (住民基本台帳)
事業の対象者数								
事業の対象者数								
運営資源状況	決算値(千円)	2,141	2,519	2,519	当初予算(千円)	3,712		
	国県支出金				国県支出金			
	地方債				地方債			
	その他				その他			
	一般財源	2,141	2,519	2,519	一般財源	3,712		
事業経費運営	人員配置数	0.5	0.5	0.5	人員配置数	0.5		
	人件費(千円)	4,263	4,150	4,150	人件費(千円)	4,151		
	総事業費(千円)	6,404	6,669	6,669	総事業費(千円)	7,863		
	市民1人当りの経費(円)	36	38	38	市民1人当りの経費(円)	45		
	対象者1人当りの経費(円)				対象者1人当りの経費(円)			

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効 率 性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	3. 廃止・休止による影響は大きくある
	今後も市が実施すべき事業か	5. 豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有 効 性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	△.負担未導入 △-3. 受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない
協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	△.協働未実施 協働実施済の場合のパートナー

事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す → <input checked="" type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする <input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する <input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する →	見直しの種類	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他	見直しの内容	
					事業へ統合
予算規模の方向性	<input type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする <input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由	法定計画である地域防災計画に位置づけられた防災会議の運営や、防災訓練・啓発事業の実施に係る事業であり、また予算は委員報酬や訓練の実施に係る委託料等固定経費のため、事業規模、予算規模ともに見直し及び削減の余地は少ない。		

総評(評価に対する考え方、根拠等)	地域防災計画に沿って防災行政を運営していくために、今後も防災会議による計画の進行管理及び見直しを行っていく。また総合防災訓練の実施により、防災意識の啓発及び地域防災力の向上に努める。防災行政に対するニーズの高まりや業務の多様化により事務量が增大しているため、効率的な事務処理を図るとともに、体制強化についても検討する。
-------------------	---

平成28年度事業実施にあたっての課題 (前年度未解決の事項を含む)	鎌倉市防災会議の効率的な運営、総合防災訓練の充実							
課題解決のために行った平成28年度の取組	防災会議については、事前準備、調整を確実に実施した。総合防災訓練は、備品搬入等を委託し、他部課の応援職員の安全面を考慮するとともに、応援体制の効率化を図った。							<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	総合防災訓練における応援職員の応援体制について、更に効率化を進める工夫が必要である。							

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項								
団体名								
他市実績								

比較事項								
団体名								
他市実績								

比較事項								
団体名								
他市実績								

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	災害対策基本法において、市町村は地域防災計画を策定し、その実施推進のため防災会議を置くことされている。市町村の防災行政運営のため必要不可欠であり、地域防災計画の策定、進行管理のほか防災に関する重要事項を審議する。総合防災訓練の実施は、地域の防災力向上と防災意識の啓発、また、防災関係機関相互の連携検証のため重要であり、他市町村においても実施されている。							
----------------------	--	--	--	--	--	--	--	--

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	単位						指標の傾向	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31	
	目標値							
	実績値							
	達成率							

指標の内容	単位						指標の傾向	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31	
	目標値							
	実績値							
	達成率							

指標の内容	単位						指標の傾向	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31	
	目標値							
	実績値							
	達成率							

当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方								
-----------------------	--	--	--	--	--	--	--	--